



## 2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年4月14日

上場会社名 株式会社アークコア 上場取引所 名  
 コード番号 3384 URL https://arkcore.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5928)1537  
 定時株主総会開催予定日 2025年5月29日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2025年5月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年2月期の業績(2024年3月1日~2025年2月28日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	6,265	15.8	586	126.6	575	134.5	391	138.0
2024年2月期	5,411	2.2	259	△15.0	245	△19.8	164	△59.7

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	218.31	—	36.6	20.8	9.4
2024年2月期	92.46	87.23	20.9	10.2	4.8

(参考) 持分法投資損益 2025年2月期 一百万円 2024年2月期 一百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	2,893	1,270	43.9	703.41
2024年2月期	2,645	871	32.9	489.37

(参考) 自己資本 2025年2月期 1,270百万円 2024年2月期 870百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	370	△57	△333	1,661
2024年2月期	290	7	286	1,682

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2026年2月期の業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	△10.6	312	△46.7	300	△47.9	208	△46.8	115.18

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期	1,970,000 株	2024年2月期	1,970,000 株
② 期末自己株式数	2025年2月期	163,688 株	2024年2月期	189,667 株
③ 期中平均株式数	2025年2月期	1,792,136 株	2024年2月期	1,778,169 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(持分法損益等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、2024年10—12月期の四半期別実質GDP成長率は、前四半期比0.7%増となり、3四半期連続で増加しております。

国内において大企業を中心に設備投資が増加基調にあり、雇用情勢は完全失業率及び有効求人倍率ともに横ばい圏内ですが、アメリカの今後の政策動向、中東地域の情勢の変化によって金融市場における金利・外国為替の変動幅が大きくなり、今後のわが国の景気動向に大きく影響するおそれがあります。

当社の事業セグメントは、バイク事業及びフィットネス事業となっております。当事業年度におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (バイク事業)

国内バイクメーカーは若年層及び中高年層のリターンライダーをターゲットとした新車を投入して市場の活性化を図っており、海外バイクメーカーは、1000ccクラスの大型バイクだけでなく、発展途上国をメインターゲットとしてインドや中国で生産する比較的安価な400cc以下の車種に力を入れることで、より幅広い層への拡販を図っております。これらの車種は日本の中型免許ユーザーや若年層ユーザーのニーズにもマッチしており、国内バイク市場においても拡大傾向にあり、コロナ以降、国内新車販売における需給バランスは供給不足が続いている状況となっております。

そのため、中古バイク販売店における販売価格は高止まりし、また、海外バイヤーの購入意欲が高いことも追い風となり、業者間オークションでの落札価格も高水準を維持しております。

このような状況下において、当社はバイクを売却したいユーザーの満足度と当事業における利益を両立する高価格での買取に取り組み、買取成約率の上昇と高粗利単価の獲得につなげております。

また、ユーザーへの直販についても400cc以上の中大型車の展示台数比率をアップし、輸入車についてもこれまでも力を入れてきたハーレーに加えてその他の海外メーカー車両の展示台数を増大させることで、中大型車および輸入車の販売台数、売上、売上総利益を増大させることに成功しております。

その結果、幅広い媒体への出稿、メディアミックスが可能となり、バイクブームの中、バイクを売却するユーザーが減少する中でも、買取台数を維持するための新たなユーザー層を獲得できるという好循環を生んでおります。また、ユーザーからの問合せから買取りまでのオペレーション効率を徹底して見直したことにより、営業スタッフ一人当たりの生産性が向上しております。

バイク事業の当事業年度の業績は、売上高5,793百万円（前期比16.5%増）、セグメント利益521百万円（前期比179.8%増）となりました。

#### (フィットネス事業)

当事業における店舗数は、エンタimeフィットネス4店、ステップゴルフ2店となっております、前期比で増減はありません。

当事業年度でのエンタimeフィットネスの月平均会員数は前期比9.3%増、ステップゴルフの月平均会員数は前期比1.8%増となり売上高は増加しましたが、設備投資による減価償却費及び人件費等の増加に伴いセグメント利益は減少しました。

フィットネス事業の当事業年度の業績は、売上高471百万円（前期比6.9%増）、セグメント利益65百万円（前期比10.2%減）となりました。

以上の結果、当事業年度の経営成績は売上高6,265百万円（前期比15.8%増）、営業利益586百万円（前期比126.6%増）、経常利益575百万円（前期比134.5%増）、当期純利益391百万円（前期比138.0%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当事業年度末において総資産は2,893百万円となり、前事業年度末と比較して247百万円増加しました。主な要因としては、商品が213百万円増加したことによるものであります。

### (負債)

当事業年度末において負債は1,623百万円となり、前事業年度末と比較して151百万円減少しました。主な要因としては、未払法人税等が123百万円、役員賞与引当金が40百万円増加し、1年内償還予定の社債を含む社債が202百万円、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が133百万円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当事業年度末において純資産は1,270百万円となり、前事業年度末と比較して399百万円増加しました。主な要因としては、当期純利益391百万円を計上したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末の現金及び現金同等物は1,661百万円(前期は1,682百万円)となっております。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は370百万円(前期は得られた資金290百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては税引前当期純利益578百万円、支出した資金としては棚卸資産の増加額213百万円によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は57百万円(前期は得られた資金7百万円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出45百万円によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は333百万円(前期は得られた資金286百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては長期借入れによる収入100百万円、支出した資金としては長期借入金の返済による支出233百万円、社債の償還による支出202百万円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

バイク事業は、当社が買い取りしたバイクの多くは業者間オークションに出品し、落札されておりますが、オークションの参加者は国内販売店だけではなく輸出業者、海外業者もいるため、互いに競り合うことで昨今の落札価格の上昇基調に寄与しております。しかしながら、今後の海外諸国の政策動向によっては海外業者等の応札意欲が減退し、落札台数の減少、落札価格の下降の可能性があるため、当社では買取台数の減少に伴う販売台数の減少及び販売単価及び粗利単価の下落を見込み、売上高及び営業利益は減少することを想定しております。

フィットネス事業は、エニタイムフィットネス、ステップゴルフともに新規出店等を見込んでおらず、会員数は横ばいで推移することを想定しております。ただ、エニタイムフィットネスはオープンから10年を経過する店舗があるため、店舗内装設備、看板等の更新工事を行う必要があり、工事期間中は営業を停止することになります。その結果、減価償却費の増加と月会費収入の減少が見込まれるため、売上高及び営業利益は減少することを想定しております。

以上より、2026年2月期は、売上高5,600百万円(前期比10.6%減)、営業利益312百万円(前期比46.7%減)、経常利益300百万円(前期比47.9%減)、当期純利益208百万円(前期比46.8%減)と予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本国内でのみ事業を展開しており、また、当社株主のうち国外の株主数も極めて少ないことから、当面の間、日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,693,752	1,674,301
売掛金	45,146	70,828
商品	664,412	877,764
貯蔵品	2,718	3,244
前払費用	22,678	24,990
未収入金	15,303	24,019
その他	1,068	705
流動資産合計	2,445,080	2,675,853
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	292,940	292,310
減価償却累計額	△208,976	△216,110
建物附属設備(純額)	83,964	76,199
構築物	13,384	9,930
減価償却累計額	△11,731	△8,648
構築物(純額)	1,652	1,281
車両運搬具	35,239	37,884
減価償却累計額	△24,769	△29,933
車両運搬具(純額)	10,469	7,950
工具、器具及び備品	121,121	132,850
減価償却累計額	△117,142	△103,381
工具、器具及び備品(純額)	3,979	29,468
リース資産	27,318	27,318
減価償却累計額	△21,448	△25,919
リース資産(純額)	5,869	1,399
有形固定資産合計	105,935	116,300
無形固定資産		
ソフトウェア	3,592	5,549
ソフトウェア仮勘定	4,000	—
電話加入権	37	37
無形固定資産合計	7,629	5,587
投資その他の資産		
出資金	402	402
長期貸付金	1,000	1,000
差入保証金	57,634	60,265
長期前払費用	3,693	1,426
繰延税金資産	24,603	33,140
投資その他の資産合計	87,332	96,234
固定資産合計	200,898	218,121
資産合計	2,645,979	2,893,975

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,116	27,394
1年内償還予定の社債	202,000	155,000
1年内返済予定の長期借入金	231,371	236,654
リース債務	5,966	1,757
未払金	78,269	99,767
未払費用	33,049	49,352
未払法人税等	41,669	165,567
未払消費税等	48,417	27,468
前受金	43,780	39,455
預り金	4,110	3,247
賞与引当金	34,463	40,530
役員賞与引当金	—	40,000
その他	224	970
流動負債合計	743,440	887,164
固定負債		
社債	340,000	185,000
長期借入金	689,543	551,219
リース債務	1,757	—
固定負債合計	1,031,300	736,219
負債合計	1,774,740	1,623,383
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金		
その他資本剰余金	267,069	264,984
資本剰余金合計	267,069	264,984
利益剰余金		
利益準備金	3,217	3,217
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	439,460	830,709
利益剰余金合計	442,677	833,926
自己株式	△72,333	△61,144
株主資本合計	870,238	1,270,592
新株予約権	1,000	—
純資産合計	871,238	1,270,592
負債純資産合計	2,645,979	2,893,975

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	5,411,998	6,265,109
売上原価		
商品期首棚卸高	729,538	664,412
当期商品仕入高	3,293,098	3,864,347
合計	4,022,636	4,528,760
商品期末棚卸高	664,412	877,764
売上原価合計	3,358,223	3,650,995
売上総利益	2,053,774	2,614,113
販売費及び一般管理費		
販売手数料	134,022	145,871
販売促進費	5,204	2,970
運賃	69,221	97,762
広告宣伝費	379,095	492,051
役員報酬	87,966	84,806
給料及び手当	405,084	446,322
賞与	34,488	24,458
賞与引当金繰入額	34,463	40,530
役員賞与引当金繰入額	—	40,000
法定福利費	80,617	83,574
旅費及び交通費	103,551	96,565
減価償却費	38,069	40,099
地代家賃	141,995	151,656
その他	280,991	280,535
販売費及び一般管理費合計	1,794,772	2,027,202
営業利益	259,002	586,911
営業外収益		
受取利息	48	1,054
受取手数料	5,076	5,130
受取保険金	—	850
雑収入	349	803
営業外収益合計	5,474	7,838
営業外費用		
支払利息	11,250	12,755
社債利息	5,567	3,067
社債発行費	1,909	—
株式報酬費用消滅損	—	1,624
雑損失	241	1,639
営業外費用合計	18,969	19,087
経常利益	245,507	575,662
特別利益		
固定資産売却益	—	1,787
新株予約権戻入益	—	880
特別利益合計	—	2,667
特別損失		
固定資産除却損	—	320
特別損失合計	—	320
税引前当期純利益	245,507	578,009
法人税、住民税及び事業税	82,454	195,298
法人税等調整額	△1,357	△8,537
法人税等合計	81,096	186,760
当期純利益	164,411	391,248



## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年3月1日至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	232,825	266,598	266,598	3,217	275,049	278,266	△73,858	703,831	1,000	704,831
当期変動額										
当期純利益					164,411	164,411		164,411		164,411
自己株式の処分		470	470				1,525	1,996		1,996
自己株式の取得								—		—
新株予約権の行使								—		—
新株予約権の失効								—		—
当期変動額合計	—	470	470	—	164,411	164,411	1,525	166,407	—	166,407
当期末残高	232,825	267,069	267,069	3,217	439,460	442,677	△72,333	870,238	1,000	871,238

当事業年度(自 2024年3月1日至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	232,825	267,069	267,069	3,217	439,460	442,677	△72,333	870,238	1,000	871,238
当期変動額										
当期純利益					391,248	391,248		391,248		391,248
自己株式の処分								—		—
自己株式の取得							△15	△15		△15
新株予約権の行使		△2,084	△2,084				11,204	9,120	△120	9,000
新株予約権の失効								—	△880	△880
当期変動額合計	—	△2,084	△2,084	—	391,248	391,248	11,189	400,353	△1,000	399,353
当期末残高	232,825	264,984	264,984	3,217	830,709	833,926	△61,144	1,270,592	—	1,270,592

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	245,507	578,009
減価償却費	38,069	40,099
株式報酬費用	7,328	92
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,153	6,067
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	40,000
受取利息及び受取配当金	△265	△1,054
支払利息	11,250	12,755
社債利息	5,567	3,067
社債発行費	1,909	—
株式報酬費用消滅損	—	1,624
新株予約権戻入益	—	△880
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,787
有形固定資産除却損	—	320
売上債権の増減額(△は増加)	1,064	△25,681
棚卸資産の増減額(△は増加)	65,315	△213,877
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,041	7,278
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,890	△10,684
その他の流動負債の増減額(△は減少)	50,800	17,845
その他	△5,243	8,912
小計	429,308	462,108
利息及び配当金の受取額	228	1,084
利息の支払額	△17,151	△15,833
法人税等の支払額	△121,707	△77,254
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,677	370,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800	△1,800
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	1,132	—
有形固定資産の取得による支出	△12,271	△45,656
無形固定資産の取得による支出	—	△5,386
差入保証金の差入による支出	△2,574	△5,309
差入保証金の回収による収入	24,114	256
出資金の払込による支出	△209	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,391	△57,895
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△201,197	△233,041
社債の発行による収入	98,090	—
社債の償還による支出	△202,000	△202,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,729	△6,155
割賦債務の返済による支出	△1,718	△1,249
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	9,000
自己株式の取得による支出	—	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	286,445	△333,460
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	584,515	△21,250
現金及び現金同等物の期首残高	1,097,835	1,682,350
現金及び現金同等物の期末残高	1,682,350	1,661,100

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業別のセグメントから構成されており、「バイク事業」及び「フィットネス事業」を報告セグメントとしています。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

バイク事業は、中古バイクの買取・販売等を行っております。

フィットネス事業は、株式会社Fast Fitness Japanをフランチャイザーとする「エニタイム・フィットネス」フランチャイズ契約を締結し、エニタイムフィットネスFC店の出店、運営を行っております。また、当該事業に含めておりますゴルフスクール事業は、ステップゴルフ株式会社をフランチャイザーとする「ステップゴルフ」及び「ステップゴルフプラス」フランチャイズ契約を締結し、ステップゴルフ及びステップゴルフプラスFC店の出店、運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注) 1、2	合計
	バイク事業	フィットネス 事業		
売上高	4,970,768	441,229	—	5,411,998
セグメント利益	186,471	72,531	—	259,002
セグメント資産	809,439	123,626	1,712,912	2,645,979
セグメント負債	207,426	14,312	1,553,001	1,774,740
その他の項目				
減価償却費	27,639	10,430	—	38,069
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	12,160	—	—	12,160

(注) 1 セグメント資産の調整額1,712,912千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金1,688,309千円であります。

2 セグメント負債の調整額1,553,001千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であり、主に報告セグメントに帰属しない社債及び長期借入金1,462,914千円であります。

当事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注) 1、2	合計
	バイク事業	フィットネス 事業		
売上高	5,793,295	471,813	—	6,265,109
セグメント利益	521,754	65,156	—	586,911
セグメント資産	1,060,925	147,561	1,685,488	2,893,975
セグメント負債	245,301	17,173	1,360,908	1,623,383
その他の項目				
減価償却費	27,662	12,436	—	40,099
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	21,621	33,150	—	54,772

(注) 1 セグメント資産の調整額1,685,488千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金1,652,348千円であります。

2 セグメント負債の調整額1,360,908千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であり、主に報告セグメントに帰属しない社債及び長期借入金1,127,873千円であります。

## 【関連情報】

前事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外への外部顧客への売上がないため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ビーディーエス	3,867,529	バイク事業

当事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外への外部顧客への売上がないため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ビーディーエス	4,898,996	バイク事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (持分法損益等)

当社は関連会社を有しておりませんので、該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産額	489.37円	703.41円
1株当たり当期純利益	92.46円	218.31円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	87.23円	—

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	164,411	391,248
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	164,411	391,248
普通株式の期中平均株式数(株)	1,778,169	1,792,136
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	106,597	—
(うち新株予約権(株))	(106,597)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含まれなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。